

大学評価のあるべき姿

- 「理想は国を興し、そして亡ぼす」
- 「予測される災害は避けられない。Mitigateの努力が組織を活性化しうる」
- 21世紀の基本: 「変化」への「適切な対応」
- 何故に、誰が、誰を、Fact(資料)と重付け(評価)
- 競争原理をMitigateする市場メカニズム
- Stake-Holder論: “Who is your customer?”, ”CS”
- 出口論: 成果のゆくえから入り口へ戻る発想

理想像を実現する際の留意点

- 大学の使命：1) 知の創造、2) 知の継承、3) 社会貢献、4) 人材育成 (かつては1)と2)のため)
- 教育の基本軸：1) 自国 (Community) のエゴ、2) 自己のエゴ、3) 知の楽しみ
- 分野で異なる：科学、工学、人文社会科学、ソフトウェア
- Ranking, Rating, Consultancy
- 尺度：絶対、相対、成果物、達成度 (対ゴール)
- 多様な経営モデル：国公立、私立
- 国際競争力 (グローバル化)、契約任用、流動性
- Federal から Local (地域) と密着した大学モデルへ